



発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
☎0267-23-8880

No.797



祇園祭は雨乞いの儀
灼熱の中
御輿を担ぐ若者
掛けられた水は
「ジュン」と昇天する
萩原 葉子

五行歌で 四季をうたう

〈五行歌とは〉思ったことをそのままのことばで、五行に表す新しい形式の歌。全音数や季語などの制限はありません。

こもろ五行歌の会

※写真撮影は会員の倉本妙子さん

小諸の七月と言えば、まず最初に思い浮かぶのが「祇園祭」でしょう。前日の「みこし」と共に、普段は閑散としている中心市街地に、多くの人々がくり出して、歩くのもやっというくらいに賑わいます。祇園祭で夏の到来を実感するという人々も多く、また周辺各地に先がけて行われるのも如何にも小諸らしく思われます。昨年には小諸市の伝統行事として、市の重要無形民俗文化財に指定されました。その祇園祭ですが、今年も参議院選挙の投票日と重なるようです。十八歳選挙権が実施される初の選挙として注目を集めています。小諸市の投票率は残念ながら県内でも低く、改善が急務です。その中でも世代別に見て、二十代の投票率が最低で、直近の市長選では三十六%余でした。特に今回の参院選は、憲法や安保法制など、国の形を問う極めて重要な選挙です。主権者としての一票を大切に行使してほしいと願います。

編集委員 神津 眞美子

